

覚えておきたい 簿記用語集

重要度の高い簿記用語をまとめました。

あ

あいて かもく
相手科目

仕訳をするとき、反対側に配置した勘定科目。

か

かいけい き かん
会計期間

当期のはじめから終わりまでの期間。

かけ
掛

商品の引き渡しの時点でお金を払わずに、後で一定期間分をまとめて支払うこと。

かしかた
貸方

簿記の仕訳で右側のこと。

かりかた
借方

簿記の仕訳で左側のこと。

かんじょう か もく
勘定科目

仕訳で使う取引内容を表す簿記の専門用語。

き しゅ
期首

当期の最初の日（細かくいえば、その日の0時）。

き ちゅう
期中

期首から期末までの期間。

き まつ
期末

当期の最後の日（細かくいえば、その日の夜中12時）。

けっさんしよ
決算書

貸借対照表と損益計算書のこと。税法で、これらの書類を決算書という。

けっさんせいり し わけ
決算整理仕訳

正しい決算書を作るために、期末に追加する仕訳。

けっさん び
決算日

集計期間の最終日、締日のこと。

げん か しょうきやく
減価償却

固定資産の価値の減少分を費用にすること。

げんきんすいとちよう
現金出納帳

現金の動きをくわしく知りたいときに作る帳簿。入金、出金と残高などを記入する。

こぎって
小切手

代金の支払い用に会社が発行する、金券のようなもの。

こていしさん
固定資産

主に長く使えて金額が高い（10万円以上）資産。借地権と電話加入権は10万円未満でも固定資産。



勘定科目 早見表

業務で頻出する勘定科目をまとめました。ただし、会社によって異なる場合もあるので注意しましょう。

グループ	勘定科目	具体例
し さん 資産	げんきん 現金	お金（硬貨、紙幣）、他人が発行した小切手など
	こべげんきん 小口現金	支払い用の少額の現金
	ふつうよきん 普通預金	普通預金（いつでも自由に入出金可能な預金）
	どうざよきん 当座預金	当座預金（主に業務用の支払いに利用する無利息の預金）
	ていきよきん 定期預金	定期預金
	つみたてよきん 積立預金	積立預金
	ちようきていきよきん 長期定期預金	（満期が1年を超える）定期預金
	うりかけきん 売掛金	商品の販売やサービスを提供した後、まだもらっていない代金（未回収のツケ代金）
	うけとりてがた 受取手形	売上代金として受け取った手形
	くりこししょうひん 繰越商品（商品）	仕入れたが、年度末に売れ残っている商品（在庫）
	ちよぞうひん 貯蔵品	年度末に未使用の事務用消耗品、包装材料、パンフレットなどの印刷物、プリペイドカードの残額、収入印紙、切手、レターバックなど
	まえばらいきん 前払金（前渡金）	商品発注時に支払った商品代金（内金、手付金）
	たてかえきん 立替金	後で取引先に請求する忘年会費用、会社がとりあえず支払った社員個人負担分の健康診断費用など
	みしゅうきん 未収金	営業用車両を中古車販売店に売ったときの後日振込代金、事務所で使っていた備品を売ったときの後日振込代金など
	なんきかしつけきん 短期貸付金	従業員や取引先に貸したお金
	かりばらいきん 仮払金	出張旅費の仮払い、交際費の仮払い、勘定科目不明の支出など
	かりばらいほうじんばいとう 仮払法人税等	法人税、地方税などの中間申告額（年度末に税額が確定する前の税金の一部支払額）
	かりばらいしょうひぜいとう 仮払消費税等	会社が消費税の経理処理を「税抜経理方式」で行っているときの費用に付帯してかかる消費税、地方消費税
	まえばらいひよう 前払費用	当期中に払った翌年度分の保険料、業務委託費、利息、家賃、土地使用料など
	みしゅうしゅうえき 未収収益	次期に受け取る利息、手数料、業務委託収入、家賃、土地使用料などで、当期に対応する分
	たてもの 建物	店舗、倉庫、事務所、営業所、研修所、ビル、社宅など

